

保護者様

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

気象情報発令時等における安全確保について

気象庁は、平成25年8月30日から「特別警報」の運用を開始しました。発令時は、「ただちに命を守る行動をとる」ことが重要で、最優先されます。

学校においては、気象警報等の種類を問わず、「特別警報」が発令された場合は、「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」が発表された場合と同様な措置とします。また、大型台風の接近や大雪の影響などで、市内鉄道会社全社の計画運休が判明した場合には、全校一斉休校となります。その場合は、メール等で学校から各家庭に連絡します。

	状態	学校の対応	備考
登校前	※午前6時の段階で、 横浜市内に 「暴風警報」 「大雪警報」 「暴風雪警報」 「特別警報」 「降灰予報」が 発表・継続中の場合	全市一斉に「臨時休業（休み）」になります。 ○遠足、修学旅行、体験学習なども原則として延期・中止します。ただし、目的地に警報等が発表されておらず、出発を遅らせる等の措置により安全が確保できる場合は、学校の判断により実施する場合があります。	原則として、学校からの連絡は行いません。
	※午前6時の段階で、 横浜市内に 「暴風警報」を伴わない 「大雨警報」 「洪水警報」が 発表・継続中、 または、荒天の場合	「通常授業」になります。 ご家庭で登校が危険と判断した場合は、待機してください。その場合には、当日の予定を学校までお知らせください。（遅刻や欠席扱いにはなりません。）	原則として、学校からの連絡は行いません。 メールにより補足的に連絡を行う場合があります。
登校後	登校後に「警報」「特別警報」が発表された場合	状況に応じて、学校で対応を判断します。	状況によりメール等でお知らせします。

※ 「横浜市内に警報が発表されている場合」とは、「神奈川県全域」「神奈川県東部」「横浜・川崎」のいずれかに警報が発表されている状態を指します。

大規模地震発生時等の場合

大規模地震発生時
震度 5 強以上が観測された場合
※横浜市内で（磯子区以外でも）

- ※ 在校時の大地震（震度 5 強以上）発生時は、「**学校留め置き（迎への保護者等への引き渡し）**」です。
学校にて児童を保護者等へ引き渡します。
- ※ 登校前に発災した場合、**当日と翌日**は、全市一斉「**臨時休校**」です。

状況により学校よりメール配信等で緊急連絡ができないことも予想されます。メール連絡が届かなくても児童は、「学校留め置き」となります。各ご家庭でも、それぞれの対応など日頃より十分な相談をお子様やご近所の方とされますよう、お願いいたします。

【保護者への引き渡し方法】について

- 原則として、校舎内の安全確認後、各教室前にて引き渡しを行います。
- 各学級（学年）担任が児童を引き渡します。引き取り者は、「**防災用児童カード**」に記載されている方とします。引き渡しの際、確認をしますので、担任の確認のないままでの引き取りはご遠慮ください。

Jアラートが発せられた場合
※神奈川県を含むとき

- ※ 警報の出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全を確保してください。

その他、下校時に安全確保が必要と判断された場合

- ※ 数時間以内に強風・大雨の予報、隣接地域での事件・事故の発生など

※ 全児童が在校中の場合

- ・メール配信「登校班ごとに」教師引率、方面別下校
- ・保護者不在の場合は、連れ帰り保護者迎えまで保健室待機

※ 低学年児童下校後の場合

- ・メール配信「在校中児童方面別」に教師引率、下校
- ・保護者不在の場合は、連れ帰り保護者迎えまで保健室待機

【キッズクラブ】

学校に児童在校の時間帯 …… **学校の措置に合流**
学校の児童下校時刻以降、「キッズクラブ」の児童のみの在校時間帯
…… **「キッズクラブ」での保護者引き渡し** となります。

※ 以前ありました、「東海地震に関連する情報」はなくなりました。